

第2回ヒロバラボ

「交通や人の過ごす空間の配置を考えるワークで出た意見」

※全体発表での意見やグループワーク時に各テーブルで出た意見をまとめたものです。

●交通（路線バスやタクシー）の配置について

<駅前広場外に交通を配置>

- iti setouchi にバスターミナルを配置して、そこへシャトルバスで輸送する
 - iti setouchi の駐車場からみる福山城がきれいだから/城が見えると行ってみたいくなると思うから
 - 路線バス乗降場が広場の中になくても良い
- 伏見町の古い店舗をエリア集約して、空いたところにバス乗降場を整備する
- 伏見町の北側にバス乗降場を集約して整備する
- 伏見町の駐車場を集約して、バス乗降場を整備する
 - 広場を自由に使いたい・通りたいから
 - 安全面から、広場には車を通したくないから
- 広場を大きく取りたいので、バス乗降場は分割してばらばらに配置する。広場内に整備する場合も、なるべく面積が小さくなるように分割する。※分割したものは、駅南口の東西や、大通りの東西に設置するイメージ
- タクシー乗降場を南口の左右に配置し、一般車両の乗り入れは排除。余剰空間を全面広場にする

<地下や上空を活用して駅前広場内交通を配置>

- 広場全面を建物にして 1階をタクシー乗降場、2階をバス乗降場にする
 - 現在は中央に乗降場があることで東西の行き来ができないから（地下道にはネガティブイメージがあるので通りたくない）
 - 屋上を広場化することで南口からも福山城が見えるようになるから
- 広場の地下にバス乗降場を整備する
 - 地下道にネガティブイメージがある（子どもにもいかせたくない）ので、現在一般車の送迎ルートとなっている地下の利活用案として
- コの字型にペデストリアンデッキを作り、2階部分をタクシーやバス乗降場にする
 - コの字型にすることで中央の広場を確保できる
 - ペデストリアンデッキの1階部分は屋根付きの滞在空間や雨に濡れない動線になる
- 広場全面を建物にして、1階をタクシー乗降場、2階をバス乗降場、3階に商業施設、屋上を広場にする
 - 階層を分けることで限られた面積がシェアできる
 - 4階が広場になると福山城が見える

<駅前広場内に交通と人の空間を共存>

- 大通り側を乗降場として、タクシー乗降場は伏見町に近い東側に、反対の西側にバス乗降場を整備する
- 駅出てすぐ滞在空間があるほうがいいので、大通り側を乗降場とする

<その他>

- バスユーザーの意見を取り入れるべき（WS 参加者にバスユーザーがいなかった）

●動線、繋がりについて

<歩行者の動線>

- とにかく自由に縦横無尽に行き来できるようにしたい（フューレック→ニューキャスパに行つたことがない）
- 天満屋付近商店街への動線がほしい。（三之丸→天満屋方面）
 - いまは地下を通って行き来しているから
- 天満屋のキッズスペース→ニューキャスパのカフェへ子連れで行きたい
- 東西を横断できる動線がほしい（地上か立体化はさておき）
 - いまは歩くときに不便/ぐるっと回るのが大変だから
- 大屋根リングのようなものを作る
 - 駅から雨に濡れずに左右のエリアや商業施設に行きたいから
 - ただし圧迫感を出さないように透明な素材で、かなり高さのある構造物がいい
- 車には広場の周囲を通ってもらい、広場内は歩行者ファーストにしたい
- 広場内は色んな動線がとれるようにしたい
- 駅南口の東西の視認性が悪く（コンビニやパン屋さんが出っ張っている）すんなり通れるようになしたい

<自転車の動線>

- 歩行者と自転車を分離して、自転車は通れるようにしたい（自転車ユーザーとしての意見）

<駅の南北の繋がり>

- 駅舎通路も気を遣わず押しチャリできる設えにしたい（今は自転車では通りにくい）
- 北口～駅舎内～南口を一体的空間にしたい、ただし北口＝文教・南口＝商業のコンセプトは出したい
- 駅舎通路も広場と同じ幅員を確保して一体的に広場（芝生）化したい

<周辺エリア・商業との繋がり>

- 駅周辺の店との繋がりができるといい（例：スノピーの焚き火イベントを広場でやるなど）
- NEWCASPA「Premium 焼肉 神石」前でのストリートライブや「スノーピーク」店のイベント、伏見町の「白ばら洋菓子店」のお土産といった、周辺店舗の広場への滲み出しを意識したい
- 周辺店舗と広場との回遊動線を作りたい
- 駅前大通も一部広場にしたい
 - 大通りにこんなに広い車線は不要だから
 - 天満屋からアイネスにも手軽に渡りたいから
- ニューキャスパの前の道路が拡張される計画があると聞いており、そうなるともっと広場との行き来がしにくくなる。広場と周辺施設との間に屋根を付けて一体的空間にしたい

<その他>

- 山下さんの講演を聞いて広場はハブだと思った
- 大前提として安全確保が必要（子どもが走り回れるような）

●人の過ごす広場空間について

<滞在空間>

- どーんと広い広場
- 広場には車を入れず、全体を広場にしたい。ただし遺構は残してほしい
- 駅舎側に屋根付きテラスがあって、コーヒーが飲めたり、広場を眺めたりできるといい
- 駅舎側を滞在空間、大通り側をイベント用スペースにして、駅から出てきた人がイベントへ向かう動線を作れるといい
- 広場の真ん中にシンボリックなバラ園やそれを囲むベンチを配置する
- 電車の待ち時間に座れる場所、学生の居場所、待ち合わせ場所として、駅舎側に滞在空間がほしい
- 駅コンコース出たところから視界が広がるほうがいいので、駅舎側に広場が広がっていてほしい（今はバスや屋根で視界がふさがれている）
- 歴史的背景を踏まえて、お堀に水辺、櫓台跡にステージを作り、石垣も残したい
- アイネスの前の階段のように、イベントのない時はステージがベンチになるように、座る場所はデザインで工夫できるといい。ベンチがなくてもいい
- ベンチは可動式にして、イベント時に自由に広場を使えるようにしたい
- ベンチは広場周辺に設置して、中央は広場スペースを残す
- 逆に中央に何もない寄り付きにくいので、中央にも何かあったほうがいい

<屋根・日陰・水辺>

- 日陰や水辺があってほしい
- 緑はもう少しほしい（木陰+癒し）
- コの字型に大屋根を作って、その上に登れるようにしたら福山城も見える
- お堀を活かして水辺を作りたい
- 屋根ではなく木陰がたくさんあるといい。足りないところはパラソルを置きたい
- 広場は全面芝生がいいので、屋根を付けるイメージはない
- 釣り人銅像前で待ち合わせや集合することが多いので、そこに屋根がほしい

<イベント>

- イベントは近隣との調和が大事（騒音など）
- 大きな空間だがスマールスタートで運営できるといい
- 伏見町に三宮阪急高架下のようなものがあると、広場から人が回遊するのではないか（対して、美術館の広場は静かでカフェがあってゆったりできるという風に棲み分けをする）
- 屋根を作る案が出ていたので、イベント用スペースは大通り側の屋根の下に配置したい
- スポーツ観戦する人が多いので、パブリックビューイング用の可動式スクリーンを入れたい（大屋根からスクリーンが降りてくるようなイメージ）
- 駅を出たときに賑わっているように、貸し出しできるステージがほしい（常設か可動式かまでは議論が至っていない）
- 駅舎通路を経て南北の行き来ができる、北口の文化ゾーンにもアクセスできるという案内や動線デザインがほしい

<情報>

- 駅舎側に、観光客が情報を得られるような「まちの自己紹介ゾーン」を設置したい（単なる観光案内ではなく、「ようこそ！」といったパーソナリティーを感じられるもの）
- 駅から出てすぐにインフォメーションを設置して、目印として釣り人銅像を移設する

●運営管理・ルールについて

- 掃除をコミュニケーションの場とする
- スケボーをする人がたむろしないよう、夜の治安維持が必要
- 歩行者にやさしい広場になってほしい
- 居住者にとってイベントの音がうるさくないように配慮すべき
- イベントだけで頑張りすぎない
- 樹木や芝の管理
- ごみのマナー徹底